

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和5年度 第4回「医療的ケア」委員会 会議録

日 時 令和5年12月21日(木) 13:30~14:45

場 所 乙訓総合庁舎 第2会議室

出席者 17名

キャンパス、第2乙訓ひまわり園、乙訓ひまわり園地域生活支援センター、向日市社協障がい者地域生活支援センター、乙訓ポニーの学校、乙訓障害者支援事業所連絡協議会、乙訓医師会、京都府乙訓歯科医師会、京都府歯科衛生士会、京都府立向日が丘支援学校、乙訓の障害者福祉を進める連絡会(3)、乙訓保健所保健課、乙訓保健所福祉課、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 6名

乙訓福祉会、京都済生会病院、乙訓訪問看護ステーション連絡会、乙訓の障害者福祉を進める連絡会(1)、向日市障がい者支援課(2)

事務局 3名

傍聴者 2名

配布資料

- ・次第
- ・周知活動社協祭り報告
- ・第1回医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会報告
- ・第2回医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会実施要項
- ・令和5年度「歯科医療受診困難者における問題点と対策～かかりつけ歯科受診の検討～」実施要項
- ・乙訓手をつなぐ親の会 会報

会議概要

1 人材育成(3号研修の周知)について

- ・11月18日(土)、19日(日)喀痰吸引等研修

委員長 ・ワーキングチームより報告をお願いしたい。

副委員長 ・今年度の3号研修は終了している。見学を予定されていた大山崎町の職員は公務でキャンセルとなり、今回見学者はいなかった。8名の方が受講され、無事修了している。

- ・今年度のワーキングチームの活動としては大山崎町の保育所3か所と幼稚園の園長会で3号

研修の周知をさせていただいた。

・今後、3号研修の受講者の確保をどうしていくのか話し合っていく必要がある。

ワーキングチームの担当者から以下の意見があがっている。

- ① 学生や支援者に3号研修の見学を案内する。
- ② 3号研修を受けた後のフォローアップを考える。
- ③ 3号研修未参加の居宅の事業所等への働きかけを検討する。
- ④ 学童や保育所に周知する。

次年度に向けて、今あげた点をまとめていきたいと思う。

2 医療型短期入所の利用に向けて

・10月3日(火) 13:30~15:00 医療型短期入所「春風」見学と説明会

委員長 ・ワーキングチームから報告をお願いしたい。

副委員長 ・こちらも既に終了している。今年度は10月3日に春風の見学会と説明会を相談支援専門員を対象に行った。次年度に向けての課題と活動の内容について協議したい。

・春風の利用にあたって高齢の方の介護と障がいの方のケアの違いを感じたため、今後、利用状況を把握し、課題があれば春風とともに考えていきたいと考えている。

・医療型短期入所について、これまで何度か懇談をしてきた新河端病院と長岡京病院には今回の動きや、その後の利用の動き等を報告し、またその次の動きにつなげていけるように働きかけを行っていきたい。

委員 ・モデルケースで利用させていただいた。コロナ禍で体験が途切れ途切れになり、仕切り直しは何回かある形での体験だった。うちの子どもの利用としては難しいという思いでいっぱいだった。看護師や理学療法士、介護の方もとても親切で寄り添ってくれていた。日中は過ごせそうだが、夜がうちの子の場合は怖いように感じた。利用できると素敵だが、看護師が夜に1人ということ、介護士も2人ぐらいで、いない時に何かあればと思うと怖い気がした。うちのような子でなければ利用は可能だと思う。春風の方は本当に親切だったが、1対1ではないため遠目に見てもらおうような形なので、マンツーマンでなくても大丈夫な方なら利用できると思う。

委員 ・今年一年、周知を中心にやってみた。見学と説明会は1回実施した。来ていただいた方には施設もしっかり見ていただき、話もできたと思う。利用するにあたっては事前にしっかりと話をしていくことになっている。周知は1回で、参加できなかった事業所もあると思うので、運用のフローは作っているので引き続きサポートをしていく必要があると思っている。

副委員長 ・次年度に向けて引き続き周知も含めて、利用の状況を見守っていききたいと思う。

事務局 ・本日欠席の向日市より意見を預かっているので、読み上げさせていただく。

・今年度、計画相談支援事業所を対象に春風の施設見学会を実施しましたが、それ以降どの様な動き、紹介した対象者はいるのか、紹介を経て見学を実施した方がいるのか等が行政側には特に

連絡が入っていないため、現状の動きが計画相談支援事業所の方に聞かないとわからない状況です。「医療的ケア」委員会の委員に関わっている方の現状の動きや意見等を聞いてみたいと思っています。向日市障がい者支援課としては現時点では春風の医療型短期入所の新規利用の方の情報や相談はまだ入っていない状況です。もし見学実施後、何か対象者に紹介する上で懸念されている点や紹介しにくい点等があるのであれば、各計画相談支援事業所の方の意見をアンケート等で次年度に聞いてみても良いのかなと思いました。

委員 ・大山崎町では問い合わせ等、特には聞いていない。

委員 ・相談支援事業所連絡会で聞いてみてはどうだろうか。そこで状況を集約すれば、計画相談のところでの動きが把握できるように思う。

副委員長・相談支援事業所連絡会と連携しながら見守っていくところで進めていきたい。

3 周知活動（社協祭り）について

・11月5日（日）大山崎町社協祭り・11月19日（日）向日市社協祭り

・令和6年3月16日（土）長岡京市社協祭り

副委員長・大山崎町社協祭りで周知活動を行った。場所はなごみの郷で、館内にブースを設けて出店させていただいた。内容は当事者の方（当事者委員含む）2名と来場者との交流を行っている。来場者に質問箱から質問用紙を引いてもらい、質問していただく取組を行った。それをきっかけに来場者との会話がなされ、コミュニケーションを深めることができた。何回も来る子ども達や興味を持っている子ども達がいた。交流会の他にシミュレーターを使った喀痰吸引の体験や医療的ケアの日常生活の様子がわかるビデオ上映を行った。45名の方が来場された。

・向日市社協祭りは向日市福祉会館で行われた。ブースは設けていなかったが、1階の休憩場所でビデオの上映と医療的ケアに関するクイズを置かせていただいた。来場者が自由に答えていただける取組を行った。ビデオ上映については興味関心のある方が熱心に鑑賞されていた。

・長岡京市社協祭りは来年3月にバンビオで開催される。ボランティア連絡会が主催になっている。来年1月より福祉祭りの取組について協議がされるため出席する予定である。周知活動の取組について理解がいただけるように働きかけ、ブースをいただけるよう進めていきたい。

委員 ・大山崎町社協祭りにJCILと一緒に活動している方と2人で一緒に参加させていただいた。特に子ども達が楽しく話を聞いてくれていた。こちらの方が楽しくなるような会になっていた。何回も来てくれるような子ども達もいた。医療的ケアを知ってもらうことが目的ではあったが、「好きな食べ物は何？」等の他愛もない話が多かった。ただ、ふれあいの中で子ども達は障がいのことを受け入れてくれるような感覚があったので、とても良かったと思っている。もっと多様な障がいの人達がいたら、もっと楽しいことができるようにも思った。今後そういうことができれば良いと思う。また来年度こういう機会があれば、参加させていただきたい。

副委員長・次年度の取組について意見をいただきたい。

委員 ・今回初めてこういった取組をさせていただき、手応えもあったように思う。知ってもらうには良い機会だったと思っている。今回は特に子ども達がたくさん来てくれたが、障がいのある人達と関わる機会が多ければ多いほど、ふれあっていく中で自然に、同じ地域にこういう人がいるということを知っていきけるのだと思う。できれば学校等でお話やイベントができるような機会があれば良いように思う。広く障がい者理解を広めるところでいうと、子ども達含め大人も一緒にふれあえるようなことができれば良いと思う。

副委員長 ・今回初めて社協祭りに出店するところで取り組んだが、周知活動は大事だと思った。今後も継続していかないといけないと思った。来年3月には長岡京市社協祭りがあるが、これをきっかけに来年度また色々なイベントに同じような形で出店したり、学校教育等で福祉教育の一環として何か働きかけができないか等、ワーキングチームで話し合い、もっと周知活動を広げていければと思っている。来年度もワーキングチームを継続していきたいと思う。

4 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会について

- ・11月7日(火) 13:30~15:45 第1回フォローアップ交流会
- ・令和6年2月15日(木) 13:30~15:45 第2回フォローアップ交流会

委員 ・11月7日に乙訓福祉施設事務組合で実施している。参加者はコーディネーター研修の修了者13名、乙訓保健所から2名、事務局から1名、京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」(以下、「ことのわ」という。)から1名、事例提供者が2名の合計19名だった。昨年度修了された方も参加している。

・「ことのわ」から相談の状況、今年度実施されている基本情報調査の中間集計の報告をいただいた。内容等は今後精査される。「ことのわ」も周知が浸透してきているような印象である。

・医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者も昨年度までで300名を超えている。

・グループワークは昨年度に続いて、事例提供者から医療的ケアが必要とされている方の事例を提供していただき、ケース検討で様々な課題や地域の状況、乙訓ではどんなことができるのか等を話し合っていくスタイルで行っている。今回は初めて大人のケースで行った。高齢のケースで元々の障がいの状況や支援の中での状態の変化等、加齢に伴う様々な課題や高齢者支援と障がい者支援のところでテーマとしては非常に複雑で議論するのも難しかった。ただ、この圏域で支援学校を卒業してから地域でずっと家族と生活されていて、本人が40代・50代で親も70代・80代になっている中で、これから考えた時にこの課題はすごく大きな問題になっているところで、共通認識が改めてできたことは良かったと思っている。

・今年度の2回目は2月15日に予定している。今回はこの圏域で医療的ケアが必要な方の支援に関わっておられる方々のパネルディスカッション的な形での話を受けて、課題について議論ができればと思っている。

事務局 ・2回目のフォローアップ交流会はたくさんの方に来ていただこうと思い、調整している。

家族、訪問看護ステーション、行政、「ことのわ」、乙訓保健所保健課、京都第一赤十字病院の地域医療連携課、相談支援事業所から参加していただく予定である。

・流れとしては医療的ケアが必要な方が生まれて病院から家での生活が整うまでの流れで、どういった方が関わっておられるのか、どういったことを担っているのかという話を話してもらおうと思っている。打ち合わせはこれからのため、内容は変わるかもしれない。

副委員長・この実施要項については承認いただき、進めても良いだろうか。では、この実施要項を基に進めさせていただく。

委員 ・今年度の京都府の医療的ケア児等コーディネーター養成研修が今月から来月にかけて、医療的ケア児等支援者養成研修という講義部分だけを受けることも含めた web 講義があり、コーディネーター養成研修の演習部分、web 講義を見てもらったうえで演習もされる方の研修が2月8日（木）、9日（金）に定員40名で予定されている。

・「ことのわ」が中心になって行っている事例検討会が今年度は1月18日（木）13時半から16時半、京都テルサで定員25名で予定されている。ご案内させていただく。

5 施設口腔ケアについて

・令和6年1月25日（木）研修会

「歯科医療受診困難者における問題点と対策～かかりつけ歯科受診の検討～」

委員 ・施設に対する検診事業と地域療育等支援事業が全施設で行われているわけではない事実と、いつか地域療育等支援事業が打ち切りになるかもしれないことを考えると、口腔ケアをどのように考えるか、施設によって若干の温度差があるように思う。施設によってできる範囲とできない範囲もある。アンケートを取ったことでそれが浮き彫りになったように思う。今後どうしていくかだが、皆さんが等しく歯科医療を受診できるルートがあれば良いと思っている。検診は学校歯科検診等で虫歯や異常があるところをスクリーニングして、歯科受診をすすめるルートを作る大きなことである。何かしらの障がいがあり、ハンディキャップを背負っている人が今は虫歯がないから行かなくても良いというのは、それで良いのかと思っている。歯科は削ったり、麻酔をかけるハードルが高い医療である。ハンディのある方が虫歯があってから受診するので良いのだろうか。痛くなってから受診した時に、治療がすぐにできるのだろうか。歯科は予防医療だと思っている。予防ができる疾患なので、痛くなる前の受診をどこかしらでやっておくべきだと思っている。皆さんにどこでも良いのでかかりつけ歯科医を作ってもらい、そこに受診してもらおう。定期的にスクリーニングを受け続けることが地域療育等支援事業や施設の考え方に左右されないやり方なのではないかと思っている。施設口腔ケアワーキングチームから、皆さんがかかりつけ医を作るという方向性がどうしたらうまくいくのかについて、まずは施設職員の方に認識を持ってもらうことが先だということで、来年1月25日（木）に施設職員向けに問題点とどうすれば解決に結びつくかという話をさせていただきたい。発達の問題や知的な問題で受入が難しいと言われている方は当院で引き受けさせていただく。何かある前に、何も無いようにするという考え方を常に皆さんに持っておいてほしいということを啓発していくことが、研修会の

目的と思っている。また、受診するというあたり前のことが難しいという話も聞くので、あたり前にできるようにするにはどうしたら良いかを検討していきたい。

副委員長・施設職員を対象に研修会を行う予定である。実施要項を作成している。

令和5年度「歯科医療受診困難者における問題点と対策」というところで実施させていただく。目的は乙訓圏域の障がい児者支援に携わる事業所の職員に、口腔ケアに関する大切さや検診、治療目的以外の未病での定期的な歯科検診の大切さを知っていただくことである。

日時は令和6年1月25日(木)、10時30分から11時30分、17時から18時の2回に分けて行う。会場は乙訓福祉施設事務組合2階大会議室、対象が乙訓圏域の障がい児者事業所の職員。

「医療的ケア」委員会委員である大橋歯科医師と岩崎歯科衛生士から講演いただこうと思っている。委員の皆さんに賛同いただけるか、意見をいただきながら承認をいただければ、12月25日(月)に案内を開始し、1月18日(木)を締切として進めていきたい。意見はあるだろうか。

委員・大藪委員にお聞きしたい。歯科に受診することのハードル等はどうか。

委員・かかりつけ医がいて受診している。最初全く何もない状態だった時はどこに受診して良いか、受診してちゃんと見てもらえるのか心配だった。障がい上ずっと口を開けているのはしんどいが、今受診しているところは理解してくれて、休憩を挟みながらやってくれている。何もない状態から、初めて受診しに行くのは確かにハードルが高いように思う。尚更、じっとしているのが難しい方等であればますます難しいと思う。当事者や家族からすれば、今の状況では歯科にかかりたくてもどうしたら良いかわからないのが現状だと思う。ウエルカムなどところがあるとわかっていれば、そこに行けば良いという安心感ができるので、そういう情報があれば良いと思う。

副委員長・特に意見がないようであれば、開催させていただく。実施要項に沿って進めて行きたいと思う。参加のほど、よろしく願いたい。

・施設口腔ケアについて、医療的ケア児者の方は歯の治療が難しく、かかりつけ医等どこに行けば良いかわからない方も多。障がいのある方に対して口腔ケアは必要性があるというところで、引き続きこの委員会で検討していく形で良いだろうか。委員から意見をいただきたい。

副委員長・次年度、施設口腔ケアではなくかかりつけ医を見つけるというところでの目的を共通認識を持って進めていくというところでは施設口腔ケアワーキングチームというところとは少し違ってくるのかと思う。ワーキングチームとしてわかりやすい名称を考えたいと思う。ワーキングチームに一任してもらえだろうか。アイデアがある方は事務局まで願いたい。

委員・地域で障がいのある方の歯科受診の問題は医療的ケアの有無に関わらずというところを押さえておかないといけない。今回、大橋先生がスペシャルニーズの歯科医院を立ち上げてくれたことで、歯科受診や口腔ケアに対する障がいのある人達が抱えている受診やケアのニーズが、今まで無理だと眠っていたものがうまく掘り起こされてくると良いなと思う。ニーズにも色々なニーズがあると思うので、専門的などところで見てもらう受診ニーズもあれば、ちょっとした配慮があれば身近なところで見てもらえるというところもある。圏域の歯科医師も含めて、この辺りの意識を高めて周知を諮っていく方法でやっていかないといけない。その点をしっかり押さえたうえで、どういう風に進めていくのかという観点でやっていかないといけない。「医療的ケア」委員会でやっては行くが、そこに絞ったことではないことは押さえておく必要がある。

委員・掘り起こしという意味では、どのような施設があり、どのような環境が整えば行けるとなるの

か。かかりつけ医を持っている方も多く、皆にとってハードルが高いわけではない。何かあったら行くという感じにならないようにすることがすごく大事であることを知ってほしいことを伝えるために、まずは施設職員の方に知ってほしいというところである。そこは配慮したような演題、内容にしたいと思っている。

6 その他

・乙訓手をつなぐ親の会より

事務局 ・本日欠席の土岡委員より「乙訓手をつなぐ親の会 会報」について預かっている。

・長岡京市共生型福祉施設について長岡京市福祉政策室と何度も懇談を重ねてまいりました中で、利用者の皆さんは、どんな診療所を望まれるのかという問いかけにアンケートをもって、お答えしたものです。先日、長岡京市人権のひろばでも展示させていただきました。アンケートについて、もっと詳しく知りたいと思われる方は長岡京市福祉政策室までお問い合わせください。

副委員長・今年度のまとめに入っていくところで、次年度の動きについて確認をしたい。ワーキングチームについてはすべて継続していくことになったが、ワーキングチームが多いため一緒にできるところはまとめさせていただきたい。人材育成と周知活動のところをひとつにまとめて動ければと思っている。次年度はこの2つをひとつにして周知活動ということで、ワーキングチームとして動いていきたいと思う。特に意見がなければ、ひとつにまとめさせていただく。

・次年度のワーキングチームは周知活動について、医療型短期入所について、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップについて、施設口腔ケアについては名前を変えて動いていくところで進めていきたいと思う。

次回 2月1日(木) 13:30～ 乙訓総合庁舎 第2会議室